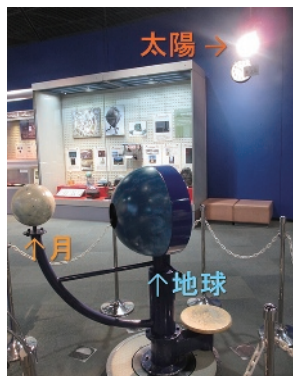


(新)月の満ち欠け

以前から『月のみちかけ』という展示はあり、月刊うちゅうでもご紹介させていただいたことはありますが、その『月のみちかけ』が、2019年春のリニューアルで新しくなっています！早いもので、もう一年以上…。以前の『月のみちかけ』同様、「自分が地球になって、体験しながら、月の満ち欠けを確認する！」ことは変えず、「より見やすく、わかりやすく、安全に！」パワーアップして皆様のお越しをお待ちしています。下に、(旧)『月のみちかけ』と(新)『月の満ち欠け』の写真を並べてみました。どんなところが新しくなったのでしょうか…？



(旧)「月のみちかけ」



(新)「月の満ち欠け」

①月：月を上から吊るすことで、月を支えるアームにぶつかる心配がなくなりました！②太陽：太陽を遠くに、そして、高さやライトを調整することで、月の光っている部分がよりきれいに見えるようになりました！③月のイラスト看板：その位置で月はどのように見えるのか、月の後ろにイラストを吊るし、確認しやすくなりました！④立って操作：地球の上部からでも月の変化がわかり、数人の方が一緒にご覧いただけます。操作時に座らなくてもよく、多くの方に体験していただきやすくなりました！

ぜひ、地球とゆっくり回転しながら、月の光っている部分(太陽の光が当たっている部分)の形が変わっていく様子(月の満ち欠け)を観察してみてください☆月の形が変わることについては、2017年5月号の月刊うちゅうで紹介しています。

→https://www.sci-museum.jp/uploads/publication/93_pdf.pdf

西岡 里織(科学館学芸員)